

【JCIマニラへの新型コロナウイルス対策支援金送金のご報告】

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は、世界中で甚大な被害をもたらし続けています。フィリピンも例外ではなく、2020年5月12日時点で、感染者数11,000人超・死者数726名に上ります。フィリピンでは、医療設備も我が国ほど整っておらず、医療現場で必要とされる防護服や隔離装置等も不足しているとのこと。

当会議所は、姉妹JCであるJCIマニラからの支援要請を受け、支援金を送金することとし、2020年4月23日、JCIマニラに対して10万円を送金いたしました。JCIマニラは、フィリピン国内の医療機関への支援活動を続けていますが、今回の支援金も、フィリピンの医療現場で必要とされているベッド等の資材調達に充てられる予定です。

<https://us7.campaign-archive.com/?e=%5BUNIQID%5D&u=9d695a61da82e27fed39cd871&id=5fe7f94021>

当会議所とJCIマニラは1978年に姉妹締結し、長年に亘り、会員交流や事業を通じて友好関係を構築してまいりました。中でも、国際交流事業「3G-PROJECT」では、次世代リーダーを育成するプログラム「LIMITLESS」にて特にご尽力いただき、また2019年度には名古屋の学生を受け入れ、現地で国際的な社会課題に触れる機会を提供していただきました。

新型コロナウイルス禍の1日も早い収束を願うと共に、当会議所とJCIマニラの持続的な友好関係の構築、さらには名古屋市とマニラ市との姉妹友好都市へとつながっていくことを願っています。